

事業者、団体、自治体等の取組

1. 「車いす避難サポーター養成講座の取り組みについて」
柳澤 幸夫氏（徳島文理大学保健福祉学部理学療法学科教授）
2. 「バリアフリーマップアプリ RazoMap について」（資料無し）
鎌田 千記理 さん
3. 「JR 四国のバリアフリーに関する取組について」
四国旅客鉄道株式会社お客様サービス推進室
4. 「NPO法人福祉住環境ネットワークこうちのUD・バリアフリーに関する取組について」
NPO法人福祉住環境ネットワークこうち

車いす避難サポーター養成講座の 取り組みについて

徳島文理大学 保健福祉学部 理学療法学科

柳澤 幸夫

災害時に役立つ 「車いす避難サポーター養成講座」の開設





防災・減災マップ

徳島県危機管理部防災対策推進課

レイヤー切替 地名検索 エリア選択 印刷 作図 リンク 計画 出力 凡例 現在地 ヘルプ

- ☐ 津波浸水想定
- ☐ 浸水深30cm到達時間
- ☒ [徳島県標準避難マップ](#)
- ☐ 標準調査マップ
- ☒ [緊急避難場所](#)
- ☐ 洪水
- ☐ 土砂
- ☐ 高潮
- ☐ 津波
- ☐ 火事
- ☐ 内水
- ☐ 地震
- ☒ [避難所](#)
- ☒ [避難所](#)
- ☐ [福祉避難所](#)
- ☐ 福祉避難所
- ☒ [緊急輸送道路 \(R6.1時点\)](#)
- ☐ 1次緊急輸送道路 (R6.1)
- ☐ 2次緊急輸送道路 (R6.1)
- ☐ 3次緊急輸送道路 (R6.1)



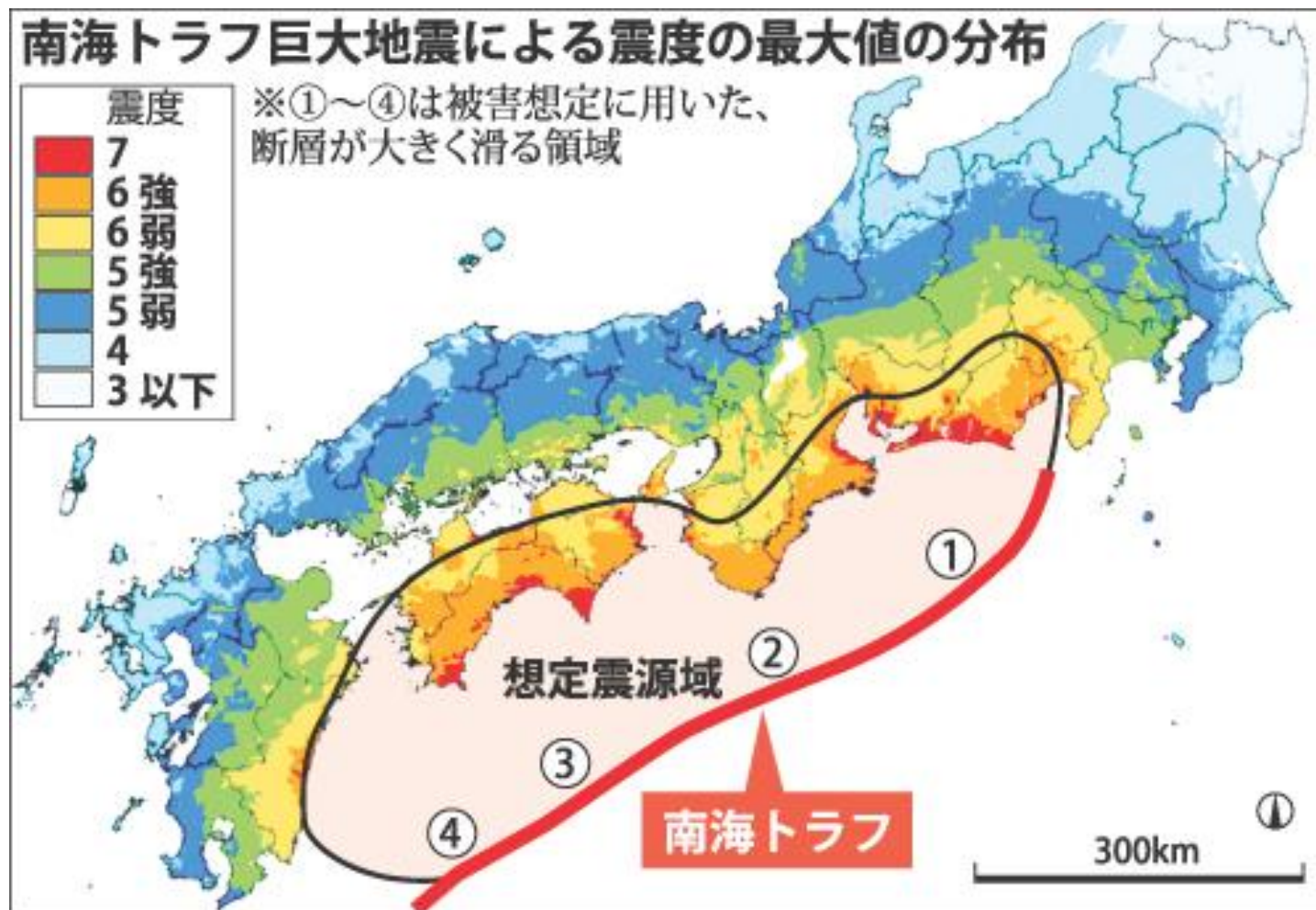
縮尺=1:54K
[バーマリンク](#)

透過度: 2画面表示

防災・減災マップのご利用上の注意

はじめに

【南海トラフ巨大地震】



被災者の特徴

東日本大震災における被災東北3県（岩手県、宮城県、福島県）の年齢別人口構成割合に対する死者構成割合では、60歳代未満では人口構成割合に対する死者割合の比は1以下であり、**60歳代を越えると1を越え、70歳代では約2倍から3倍、80歳代では2.5倍から3.5倍**となった。

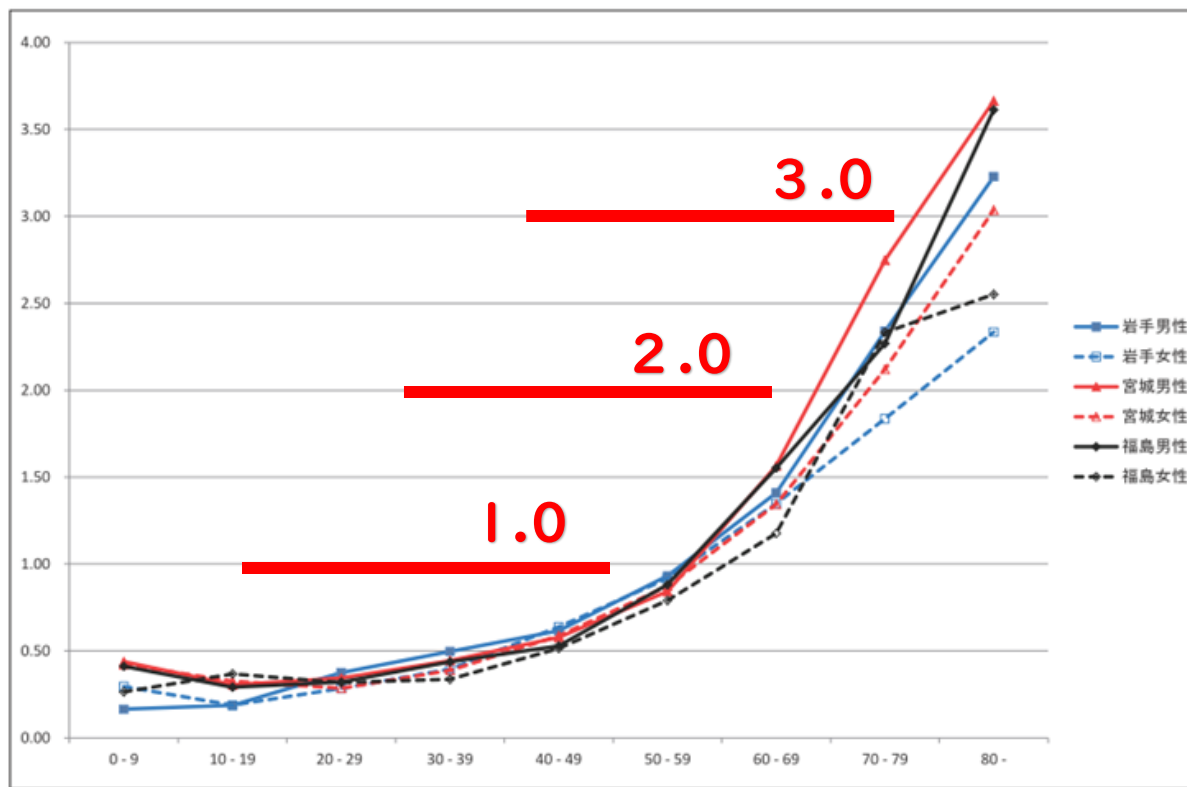


図1 県および性別の年齢別人口構成割合に対する死者構成割合の比(警視庁, 2012)

2018年7月豪雨で被害があった岡山県真備町の死者51人における年齢別死者数をみると70歳代、80歳代が3/4と多くを占めている。

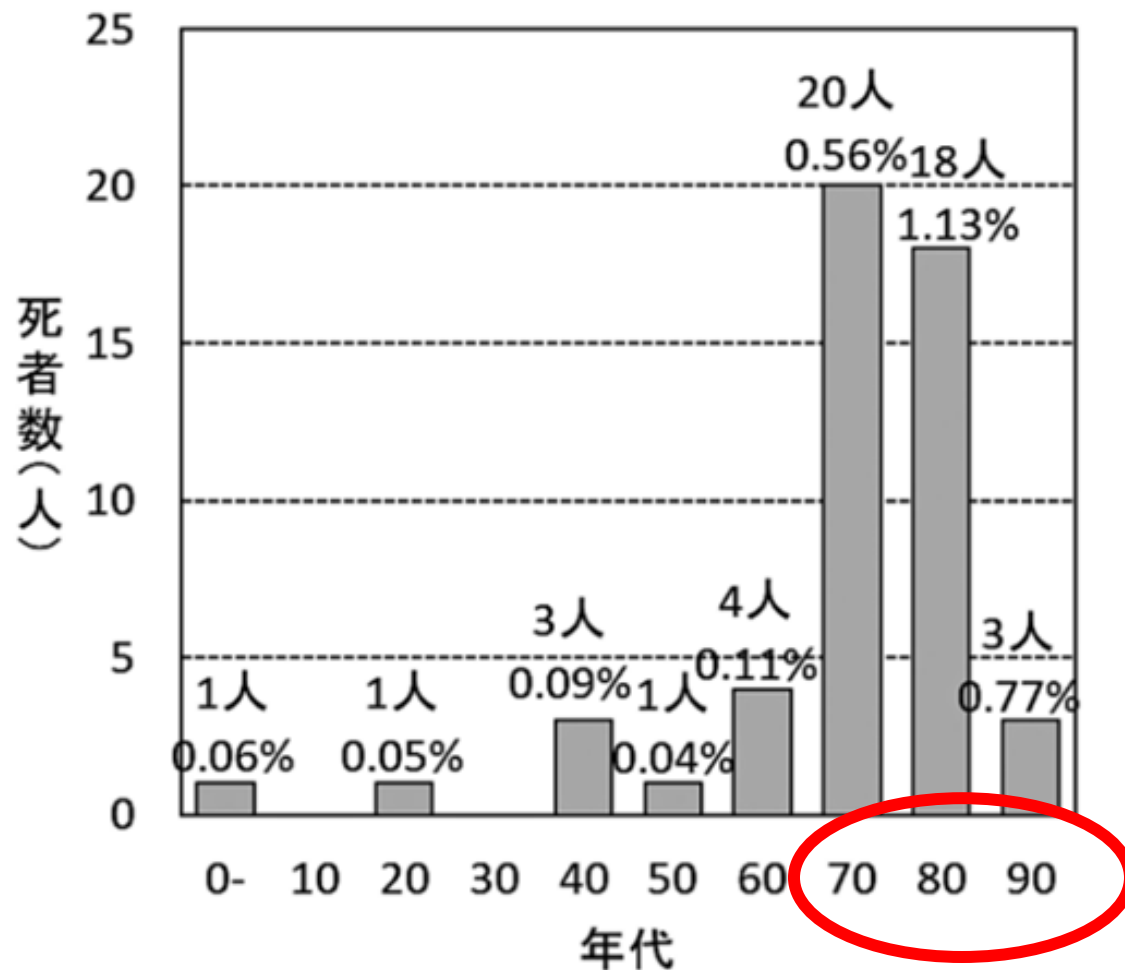


図2 真備町における年代別死者(兼光ら, 2020)

災害名称	水系名	河川名	市町村	死者数		観測	解析
				総数	対象		
H30年 7月豪雨	高梁川	小田川	真備町	51	44	○	○
R2年 7月豪雨	球磨川	球磨川	人吉市 球磨村 八代市	50	43	○	○

※球磨川の解析は52.2kp-68.7kp



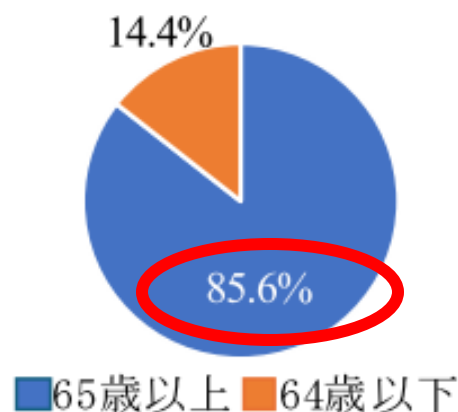
災害名称	水系名	河川名	市町村	死者数		観測	解析
				総数	対象		
R1年 東日本 台風	阿武隈川	安達太良川	本宮市	7	5	○	○
		釈迦堂川	須賀川市	2	2	○	○
	夏井川	夏井川	いわき市	8	7	○	×
	久慈川	久慈川	大子町	1	1	○	○
	信濃川	千曲川	長野市	5	1	○	○
	多摩川	平瀬川	川崎市	1	1	○	○

各洪水氾濫災害の概要 及び観測・解析状況

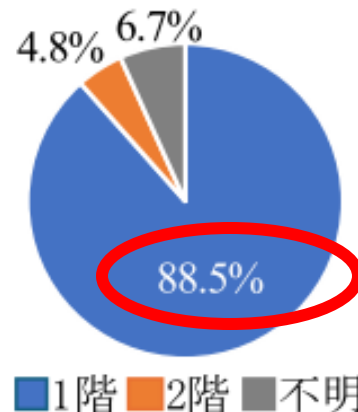
「自宅などの屋内で発見された
死者数と流出家屋の死者数の和」

死者の年齢 被災階数構成

死者の年齢構成



死者の被災階数



窪田利久, 他: 近年の豪雨災害における河川氾濫・被害状況を反映した洪水人的被害関数の構築. 河川技術論文集 (2024)



はじめに

現在、地域で災害対策の研修会や一般市民に対する避難訓練、各機関での避難訓練などが開催されていますが、避難に支援が必要な方々に対する取り組みには課題が多くあります。



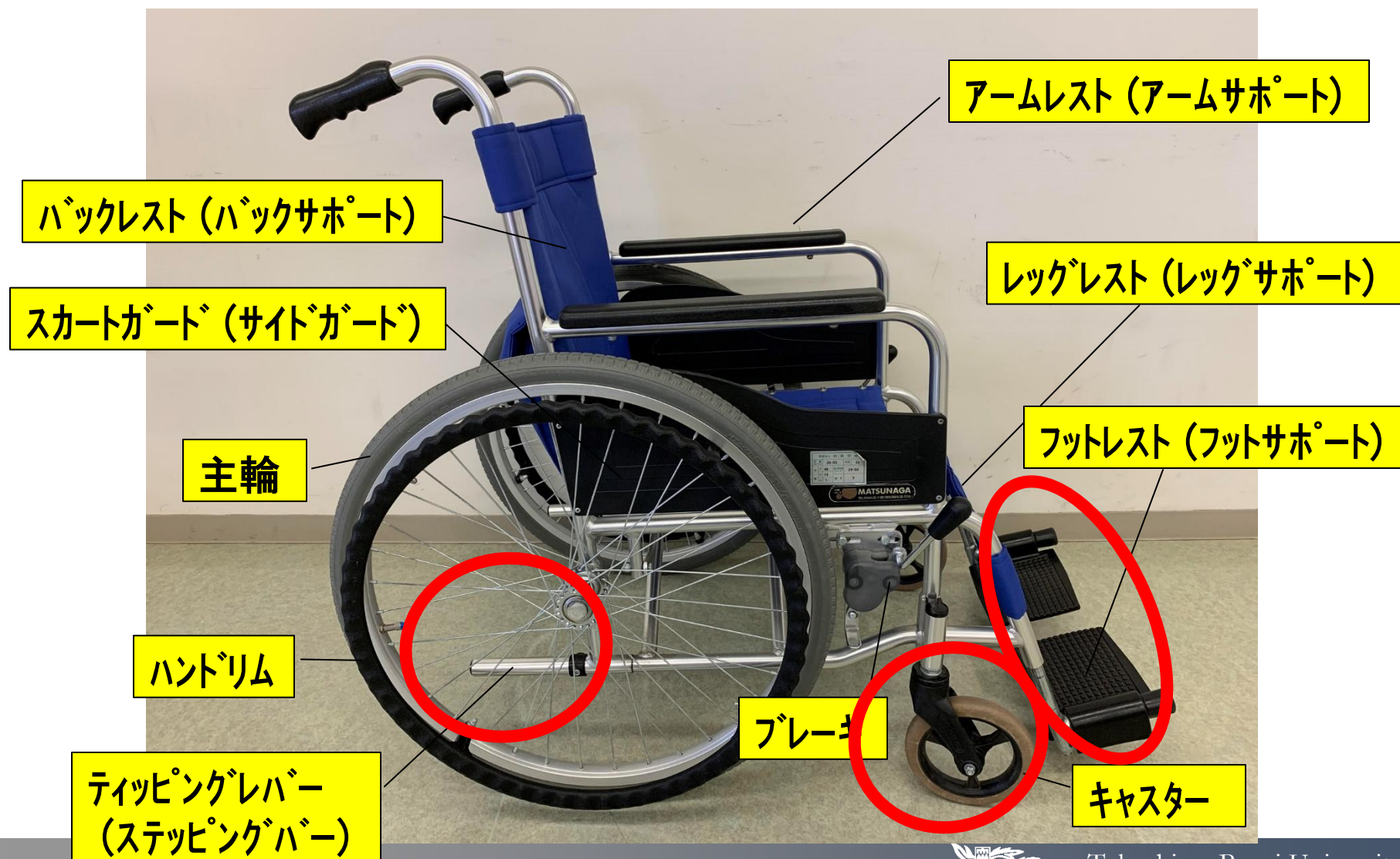
事前訓練・シュミレーション

POINT

医療・福祉・教育機関・自治体・自主防災会等が連携できる仕組みづくりとともに、地域レベルで事前訓練を行い、課題を整理して災害発生に備える。



車椅子各部の名称



自走用



介護用



キャスターアップ



移動介助の基本（平時）

でこぼこ道

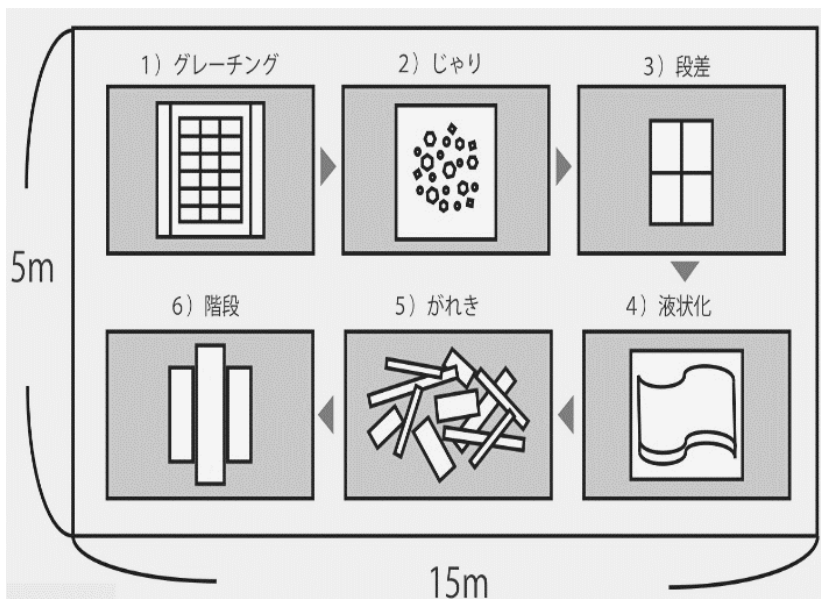
上り坂

下り坂



車椅子移動支援方法の学習教材 OBサーキットトレーニングキットを作成

- ・ 30mのサークル内に屋外の障壁を設置
- ・ キットに設定した6種類の障がい物
(グレーチング、砂利、低い段差、液状化、ガレキ、階段)



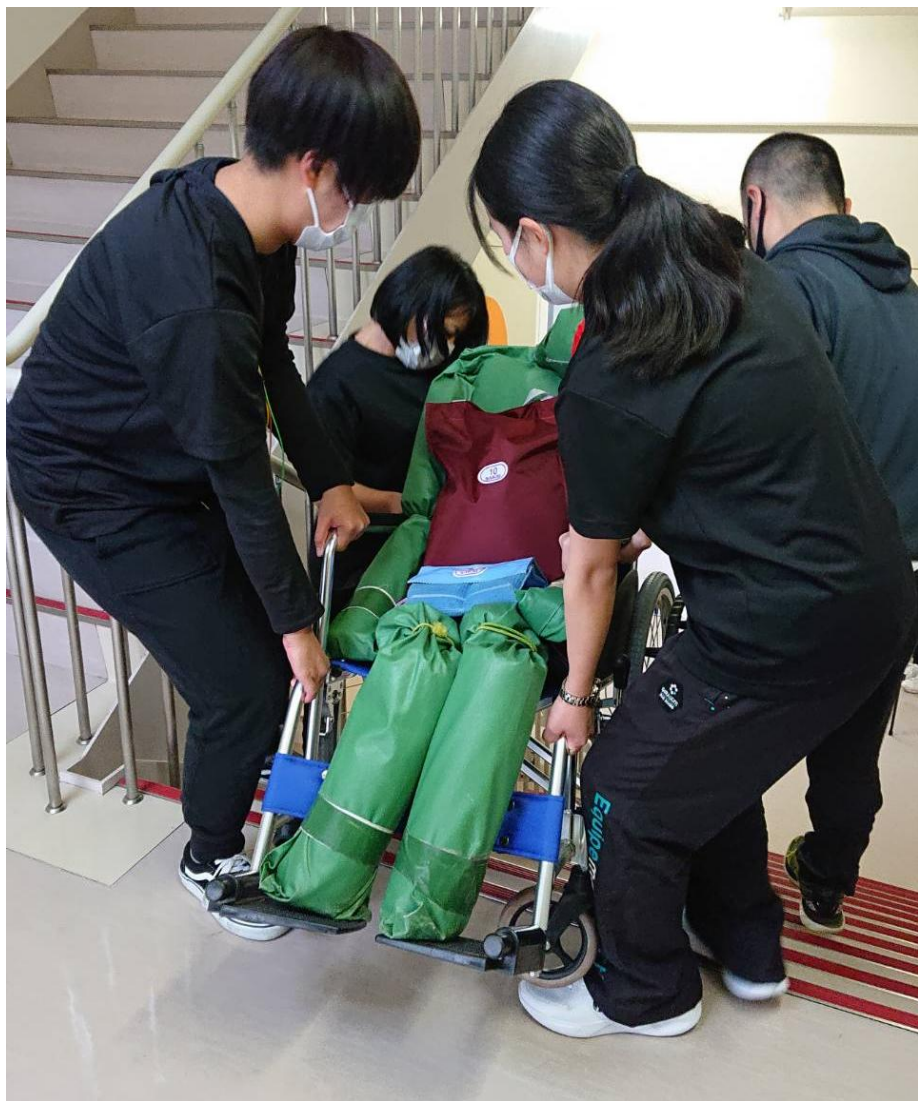
水平避難・垂直避難



1 水平避難

2 垂直避難





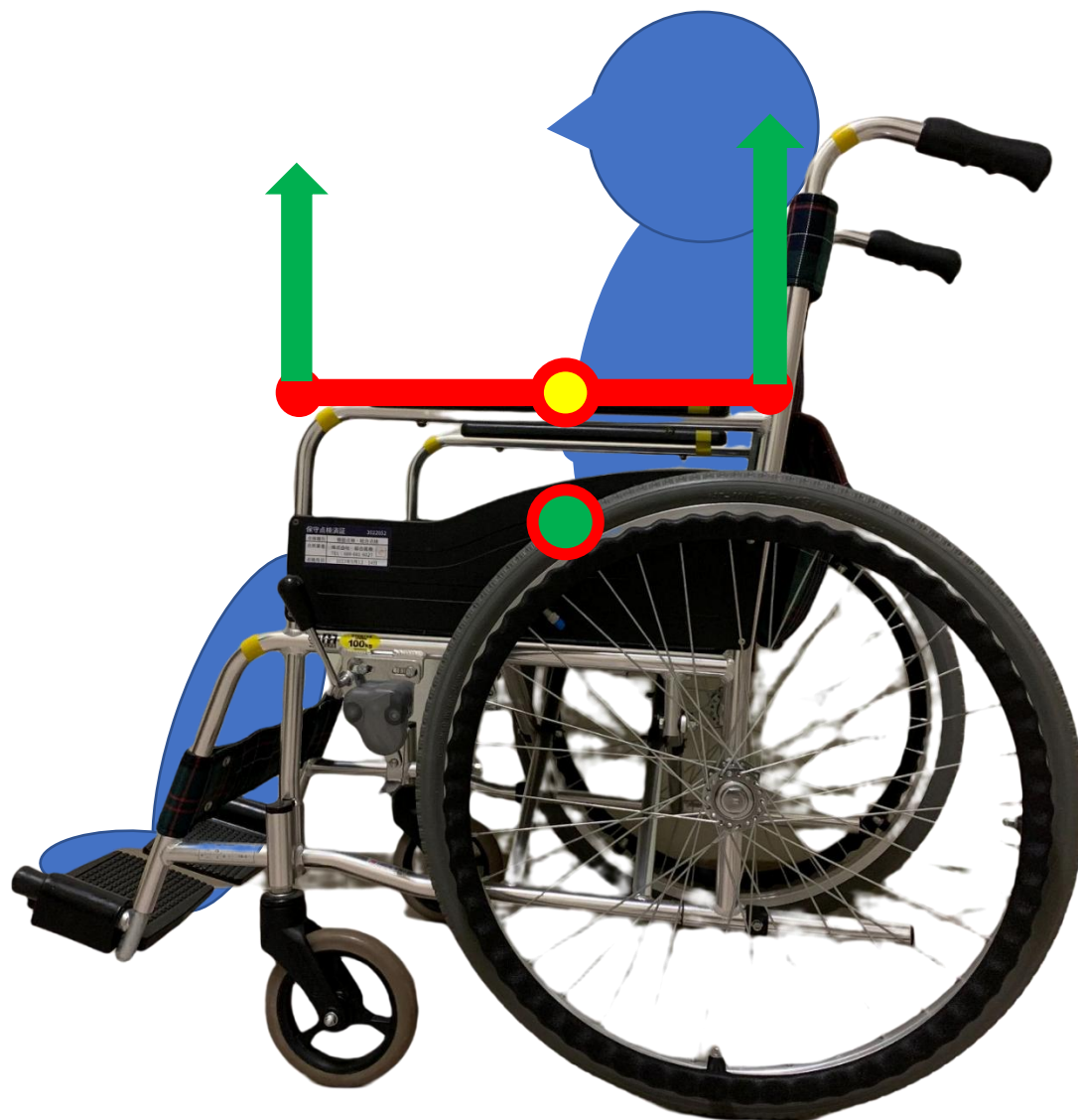
車椅子の四人介助

Q2. 前輪側・後輪側…階段昇降
介助者側の負担は??

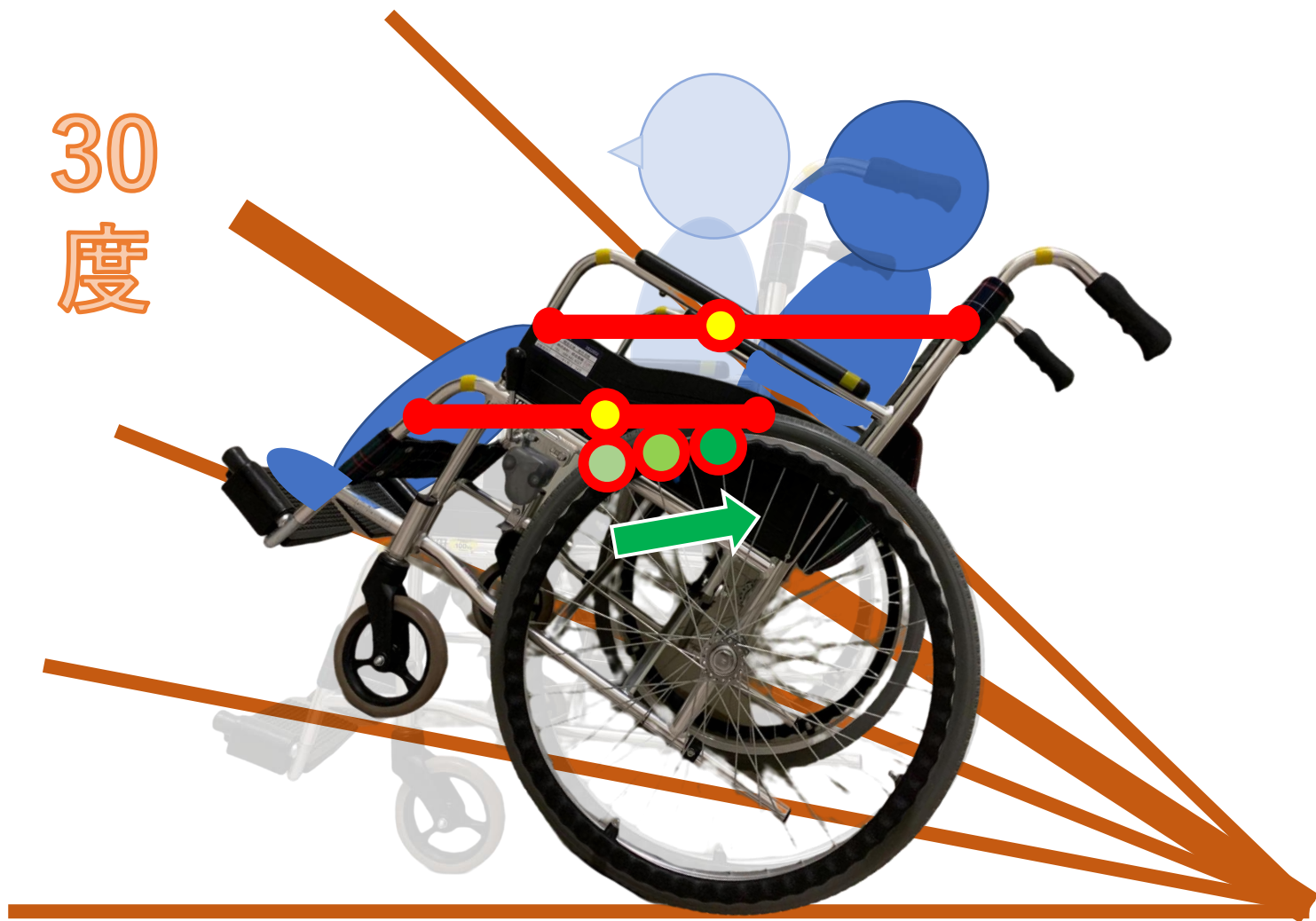


- 1) 前輪 > 後輪
- 2) 前輪 < 後輪
- 3) 前輪 = 後輪





30
度





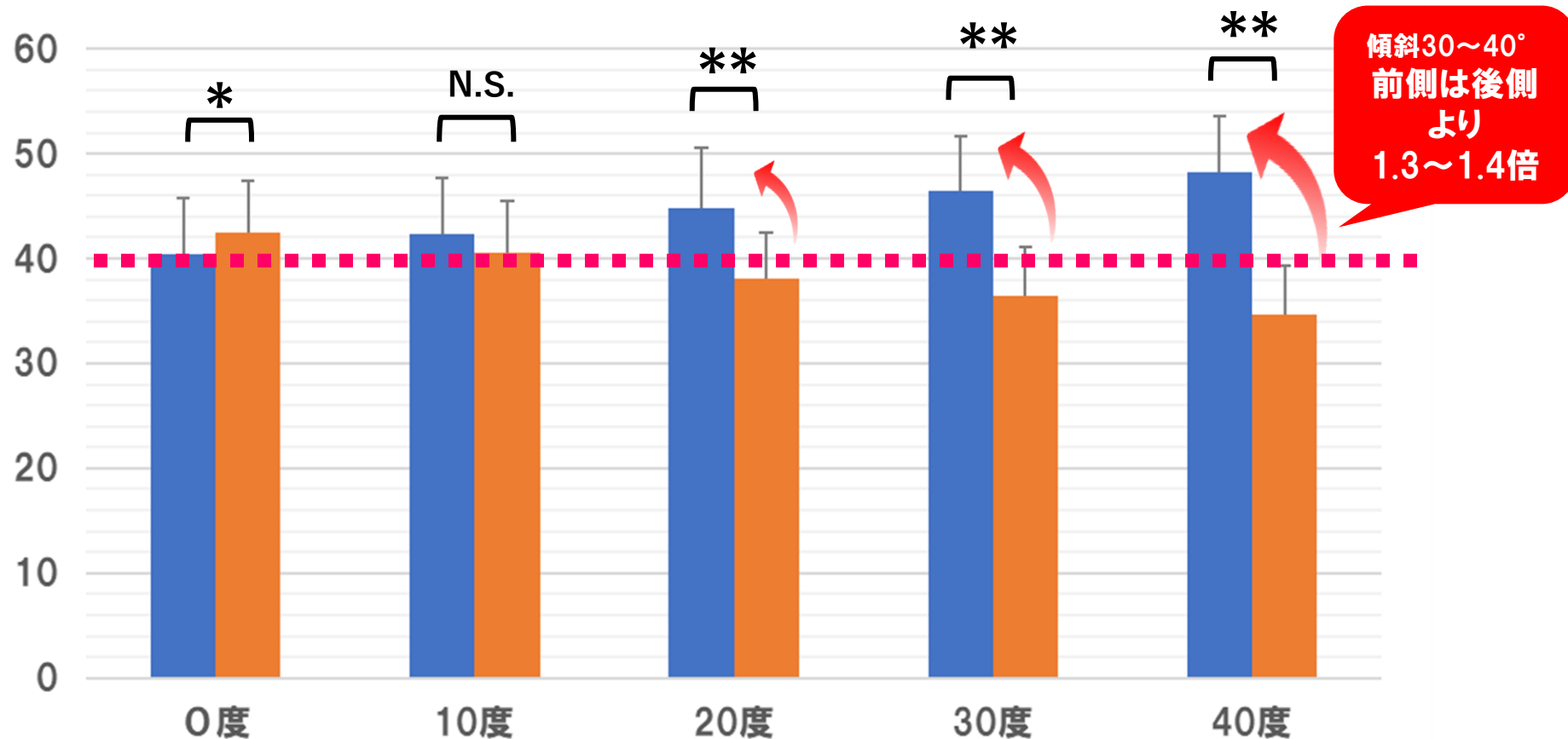


前後の重さ

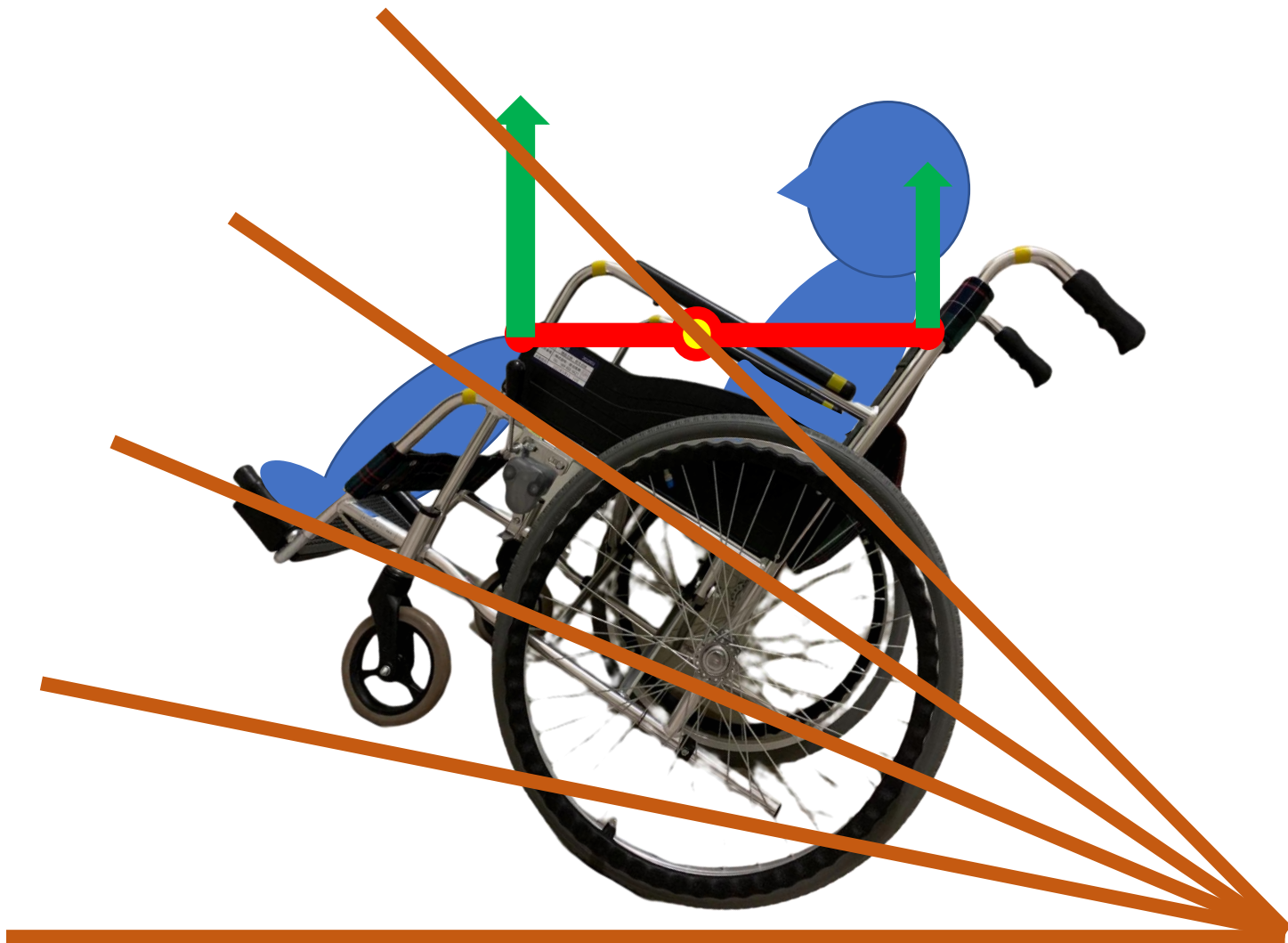
■ 前側 ■ 後側



(kg) -5.2% +17.6% +27.1% +39.6% (後側 : 100)

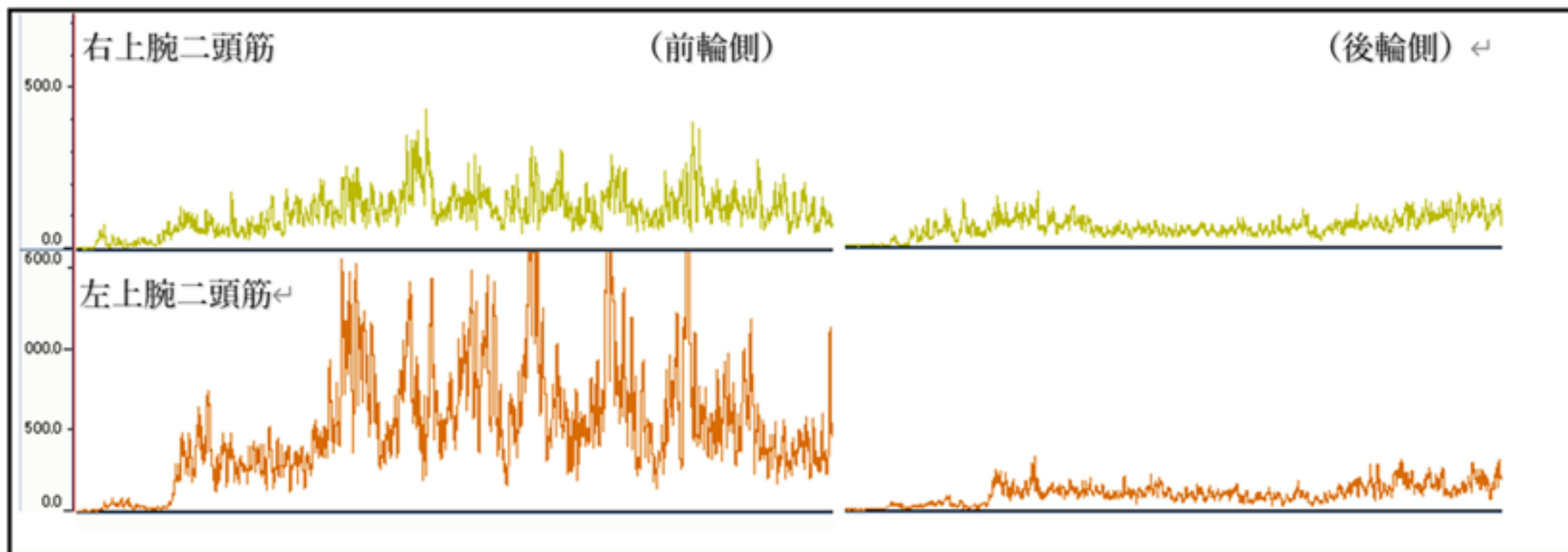


* : $p < 0.05$, ** : $p < 0.01$.





【階段】 4人介助 上腕二頭筋の筋活動





四人介助の場合（例：男女各2名）

**→ 前輪側（男性）
後輪側（女性）**

4人介助



3人介助



手で持つところのマーキング → 事前対策



引き上げ

3人



2人





持ち上げ



4人



3人

引き上げ



2人



3人







まとめ

- 現在、養成講座は2,900名の方が受講している。
(徳島県・香川県・高知県・和歌山県・奈良県)
- 災害時の被害に遭われる方は高齢者が多い。
- 屋内外での移動には多くの障壁が存在する。
- 各支援方法を学び、状況に合わせた選択ができることを目指す。
- 国民（子どもから大人まで）が、車いす支援方法を学ぶことは、地域防災力を高める一助となる。
- 地域でできる要配慮者・避難行動要支援者対策への新たな試みが
必要 一助かる命を助ける一

安全に避難所へ
の移動を支援

車椅子支援の手引き 作成
-Emergency Skill-

事業者団体等取組報告

団体名（会社名） 四国旅客鉄道株式会社

役職名 お客様サービス推進室 副長

氏 名 神野 泰弘

○バリアフリーに関する取組事例

当社のバリアフリーに関するハード整備は、公共交通移動等円滑化基準に基づき整備を行っています。これまでに様々な整備を実施していますが、最近（過去3年程度）実施した主な取組事例は次のとおりです。

◎ 駅設備

【内方線付点状ブロックの整備】

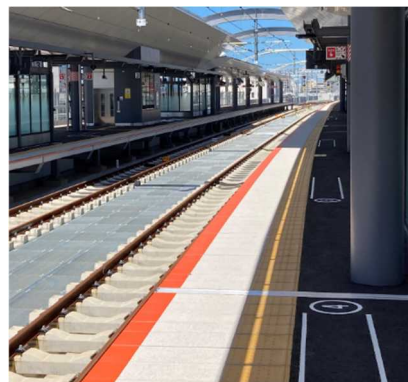
《2024 年度》松山駅、屋島駅、穴吹駅

《2025 年度》伊野駅

《2026 年度》鬼無駅・板野駅・佃駅・

山田西町駅・朝倉駅・岡花駅

（予定）



（ＣＰライン・内方線付き

点字ブロック整備例：松山駅）

【ＣＰライン整備】

《2024 年度》松山駅

【運行情報等表示端末（デジタルサイネージ）設置】

お身体の不自由なお客様や訪日外国人のお客様など、多くの方に運行情報をよりわかりやすくお伝えするため、無人駅等を中心に多言語と音声出力に対応した運行情報等表示端末を新たに設置しました。

《2022 年度 設置駅（56 駅）》

予讃線：讃岐府中駅～伊予立川駅・卯之町駅

土讃線：金蔵寺駅～讃岐財田駅

《2023 年度 設置駅（46 駅）》

土讃線：箸蔵駅～窪川駅

徳島線：穴吹駅～辻駅

予土線：伊予宮野下駅・近永駅

《2024 年度 設置駅（11 駅）》

予讃線：内子駅・新谷駅・西大洲駅・伊予平野駅・双岩駅～北宇和島駅（※）



（設置例：北宇和島駅）



（表示例：通常運行時）



（表示例：列車遅延時）

◎ 列車設備

【車椅子スペース等を装備した新型車両】

《2019 年度～2020 年度》 2700 系 14 編成

【改造時に車椅子スペースを装備した車両】

《2024 年度》 8000 系 1 編成

《2025 年度》 8000 系 1 編成

《2026 年度》 8000 系 2 編成（予定）（8000 系車両車椅子スペース）



【聴覚障害者用ドア開閉動作開始ランプ】

聴覚障害等のお客様が車内外から戸の開閉のタイミングを確認できるよう、車内ランプ又は車外ランプの点滅等により戸の開閉のタイミングを表示します。

《2024 年度》 8000 系 8 両、1200 型 4 両導入

《2025 年度》 8000 系 8 両、1200 型 4 両導入

《2026 年度》 8000 系 13 両、1200 型 3 両導入（予定）



（イメージ（7200 系電車より））

【3600 系バリアフリー設備】

《2026 年度》 量産先行車 4 両（6/27 営業開始）

車椅子対応トイレ



車椅子スペース



半自動押しボタン



戸開閉表示灯



優先座席、滑りにくい床



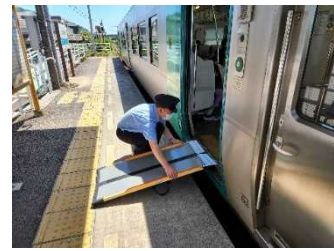
側面行先表示器 転落防止ホコ



◎ 乗務員介助

現在、車いすをご利用のお客様が駅係員不在の駅をご利用される際は、お客様からのご連絡により、その駅を管理している駅から駅係員を手配し、列車乗降のお手伝いをさせていただいております。

2022 年 12 月より、試行的に鳴門線において、車いすをご利用のお客様からご連絡がない場合においても、スムーズに列車をご利用いただくことができるよう、乗務員（運転士及び車掌）が列車乗降のお手伝いを実施しています。



◎ その他

ソフト対策につきましては、サービス介助士の資格取得をすすめており、2026 年 3 月末時点で駅や乗務員区所に 386 名の社員がサービス介助士として在籍しています。

また、障害のあるお客様対応についてまとめたマニュアル整備、対応方を具体的に学ぶ研修を実施しています。

その他、お身体の不自由なお客様や高齢のお客様をはじめ、ご利用されるお客様が安全に安心してご利用いただけるよう「声かけ・サポート」運動を実施しています。お身体の不自由なお客様やお困りのお客様等を見かけた場合は、常日頃から社員による積極的な声かけやお手伝いはもちろん、放送や同運動のポスターを掲出するなどにより、周囲のお客様にもご協力いただき、社会全体で見守り支えあうことを目的に取り組んでいます。



（声かけ・サポート運動ポスター）

事業者団体等取組報告

団体名（会社名） NPO 法人福祉住環境ネットワークこうち

役職名 理事長

氏 名 笹岡 和泉

➤ UD・バリアフリーに関する取組事例・計画

- ・高知市中心市街地バリアフリー情報サイト（令和 8 年 4 月公開）

<https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/128/barrierfree-map.html>

これまで紙媒体の「高知市お城下バリアフリーまっぷ」のみでしたが、高知市商業振興課からの委託事業として、タウンモビリティスタッフ・ボランティア・障害当事者・学生等と中心商店街の店舗調査を行い、高知市のサイトに中心商店街の店舗のバリアフリー情報が公開されました。これにより随時更新・店舗の追加が可能となり、最新情報を提供出来るようになりました。

- ・NPO ふくねこの防災の取組み（令和 8 年 4 月公開）

<https://fukuneko-k.com/fukuneko/bousai.html>

「タウンモビリティステーションふくねこ」は、障害者・高齢者や、商店街利用者、県外・海外観光客等、災害時要配慮者が多く訪れるという特性があるため、1 年間勉強会や防災カフェを実施しながら独自の「防災ガイドライン」「防災マニュアル」「SOS カード」を作成しました。今年度は活用しながら、追加・修正点を改善していく予定です。